

会 議 録

会議の名称	第2回 飯塚市文化施設活用検討委員会
開催日時	令和4年5月23日(月) 13:30~15:30
開催場所	飯塚市役所 本庁 1階 多目的ホール
出席委員	竹川委員長、徳永委員、瓜生委員、田中委員、長曾我部委員、榎本委員、大石委員、寺田委員、田上委員、眞鍋委員、奥田委員
欠席委員	河副委員長、志村委員、福丸委員、早川委員
事務局	<p>【文化課】</p> <p>坂口課長、久原文化施設整備担当参与、吉田文化施設整備推進係長、西田</p> <p>【商工観光課】</p> <p>小川課長、柴田課長補佐、田中観光係長</p>
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> 5-1 検討委員会スケジュールの見直しについて 5-2 嘉徳劇場の文化的価値について 5-3 嘉徳劇場の活動実績について 5-4 嘉徳劇場に深く関わりのある方々へのヒアリングについて 5-5 意見交換 6 その他 7 閉会
会議資料	資料1 委員会スケジュール(修正案)

会 議 録

	<p>資料 2 文化財建造物の保存と活用</p> <p>資料 3 全国の芝居小屋等一覧表</p> <p>資料 4 「芝居小屋」のなかの嘉穂劇場</p> <p>資料 5 劇場の変遷</p> <p>資料 6 興行件数の推移・興行の特徴・入場者数の推移（人数・割合）</p> <p>資料 7 観光の視点からの活用状況</p> <p>資料 8 劇場に深く関わりのある方々へのヒアリングについて（提案）</p>
公開・非公開 の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>（傍聴者 2 人）</p>
その他（非公 開理由等）	
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>嘉穂劇場は昨年が90周年の節目であり、いったん営業の幕を下ろしたが、劇場としては、まだ生命がある劇場だと思っているので、委員の皆様からご意見や知見を頂きながら、嘉穂劇場の文化的価値というものを、委員の皆様ともう一度いろいろな視点から見つめなおしていきたいと思っている。また、委員の皆様もいろいろな形でご意見を頂ければと思う。</p> <p>3 委員紹介</p> <p>各委員のあいさつ。</p> <p>4 事務局紹介</p> <p>事務局員あいさつ</p> <p>5 議題</p> <p>5-1 検討委員会スケジュールの見直しについて</p>

会 議 録

●事務局より検討委員会スケジュールの修正案を提案

【質問・意見等】

なし

5-2 嘉穂劇場の文化的価値について

●委員より嘉穂劇場の文化的価値について、資料2に沿って説明

福岡県下において戦前に建てられた唯一の木造の劇場建築だという希少性が評価されている。また、近代に新たに入ってきた技術や文化が舞台建築にいろいろ反映されている可能性もあり、今後の検証が必要なのではないかと。今後は文化財としての価値を保ちながら活用して、新たな価値を見いだすことが大事。本委員会では文化財の価値を守ることを前提に、自由に活用を考えてみることも大事ではないかと。

【質問・意見等】

① 嘉穂劇場の規模について

質問委員：嘉穂劇場の建築面積や延床面積は国内で最大級であるとなっている。大きさ自体も価値ではないのか。

説明委員：文化財としては構造や機能のような、建築規模に至るプロセスを評価するが、その希少性も含めて、大きさも嘉穂劇場の価値であることは間違いない。

② 飯塚市の酒蔵について

質問委員：地元では古い酒蔵を自由に活用している例がある。飯塚市では古い酒蔵の存在や活用の例などはどのようになっているか。

委員長：現役の酒蔵は年代が新しく、嘉穂劇場の周辺に酒屋が1軒あったが、取り壊されており現存していない。旧酒蔵であれば探せばあるかも知れない。周辺地域の文化的建造物も活用の対象と考えていく必要があると思われる。

会 議 録

●事務局より資料3の内容について説明

【質問・意見等】

なし

●委員より嘉穂劇場の文化的価値について、資料4に沿って説明

芝居小屋の時代的背景として、江戸時代の芝居小屋はその時代の最先端の建築であり、中身も最先端であったということ。

また、戦前の芝居小屋は全て民間の資本、人材で運営されてきたということ。そしてここ数十年で行政が持つ公立文化施設との関係性を考えるようになってきたということ。

当委員会でもコスモスコモンとのすみ分けは重要なテーマである。また私自身は特に 1930 年代から芝居小屋、劇場として途切れることなく運営されたことに、すごく高い価値があると思っている。

【質問・意見等】

なし

5-3 嘉穂劇場の活動実績について

●事務局より資料5及び資料6の内容について説明

【質問・意見等】

③ 嘉穂劇場の入場者数の内訳について

質問委員：嘉穂劇場の入場者数のうち、外国人の方がどのくらいの人数及び割合を占めていたのか。

事務局：外国人の入場者数については、現段階では資料を持ち合わせていない。NPO法人嘉穂劇場より譲り受けた資料を精査し、後日報告する。

④ 嘉穂劇場の収益について

質問委員：嘉穂劇場の収益のうち、興行収入が占める割合と見学収入が占める割合はどのくらいだったのか。再開にあたり劇場として

会 議 録

運営し収益を上げるのかまたは見学施設として収益を上げていくのかのヒントになるのではないか。

事務局：収益の内訳については把握できていない。

委員：自分が知っている他自治体が所有する劇場施設の場合ではほとんどが見学収入となっている。興行の場合でも自主公演では貸館料が取れないので、興行と見学のバランスは難しい。

●事務局より資料7の内容について説明

【質問・意見等】

なし

5-4 嘉徳劇場に深く関わりのある方々へのヒアリングについて

●事務局より資料8の内容について説明

【質問・意見等】

⑤ ヒアリング対象者について

質問委員：ヒアリング対象者のうち、嘉徳劇場の運営の立場及び活用の立場の人物とはどのような方々なのか。また、その他の対象者の範囲はどのようなものか。

事務局：お尋ねの対象者については、現段階では特定していない。その他の対象者については、各委員の皆様からご意見をいただき決定したい。

委員：商店街組合と周辺の学校関係者にも話を聞くと良いのではないか。

委員：多数の周辺住民にヒアリングを行うほうが良い。その際には今後の嘉徳劇場にどのようなところを期待するのかを重視してヒアリングを行って欲しい。

5-5 意見交換

会 議 録

⑥ 若年層を取り込む方策について

発言委員：嘉穂劇場をこれから有効活用していくのなら、例えばeスポーツ大会のような、若年層が集えるような仕掛けが必要ではないか。

⑦ ヒアリング対象者の拡充について

発言委員：調査の対象者を拡充することには賛成である。全飯塚市民に向けたインターネットでの調査を行ってみてはどうか。また、嘉穂劇場以外の場所でのステージ出演者、演出者や地域の学校の文化祭での使用も見越し、大学関係の対象者も拡充してはどうか。

⑧ 飯塚市における嘉穂劇場について

発言委員：私は飯塚市外の出身だが、嘉穂劇場は飯塚市民にとっても大切にされているように感じた。その点を忘れずに、今後も大切にしていきたいと感じている。

⑨ 嘉穂劇場の今後の活用について

発言委員：嘉穂劇場でeスポーツのような現代型のコンテンツをやるのはすごく良いアイデアだと思う。例えば海外のサーカス団などが公演しても面白いのではないか。

6 その他

- ・事務局より第3回の開催日程について説明

7 閉会